

川越市上下水道ビジョン

未来へつなぐ うるおいの環^わ 川越の上下水道



川越市上下水道局

はじめに

本市の水道事業は、昭和２９年の給水開始以来、安全で良質な水道水の安定供給に取り組んでまいりました。また、下水道事業は、昭和３９年の本格的な下水処理開始以来、生活環境の保全と、快適なまちづくりに努めてまいりました。平成１５年４月に、水道事業と下水道事業を統合した「川越市上下水道局」を発足し、より総合的な水環境を創造する体制を整えました。



現在、本市の水道普及率はほぼ１００％に達しており、下水道普及率も８５％を超え、市民生活や社会経済活動を支えるライフラインとして重要な役割を果たしております。そうした中、上下水道事業が果たすべき重要な使命は、施設を造って普及率を高める「建設・拡張」から、将来にわたり安全安心な水環境を提供するための「維持・管理」へと変わってきております。

また、上下水道事業における経営環境も大きな転換期を迎えております。将来の人口減少、節水意識の向上等による水需要の減少により、事業運営は厳しさを増していく中、老朽化施設の更新・修繕、局地的大雨や地震などの自然災害への対策は急務であり、これまで以上に効率的な経営が求められます。

こうした経営環境の変化に対応していくため、上下水道局においては、「未来へつなぐ うるおいの環 川越の上下水道」を基本理念に掲げ、本市の上下水道事業の将来を見据え、今後の事業運営の指針となる「川越市上下水道ビジョン」を策定いたしました。

本ビジョンにおいて、上下水道事業のあるべき方向性を市民の皆様にお示しし、必要な施策を着実に実行することにより、本市のさらなる発展と豊かで快適な暮らしを支え続けるため、職員一同全力で取り組んでまいります。

今後とも、本市の上下水道事業に対し、より一層の御理解、御協力をお願い申し上げます。

結びに、ビジョンの策定にあたり、熱心に御議論いただきました、川越市上下水道事業経営審議会の委員の皆様をはじめ、貴重な御意見、御提言をいただいた多くの皆様に対し、心からお礼申し上げます。

平成31年3月

川越市上下水道事業管理者

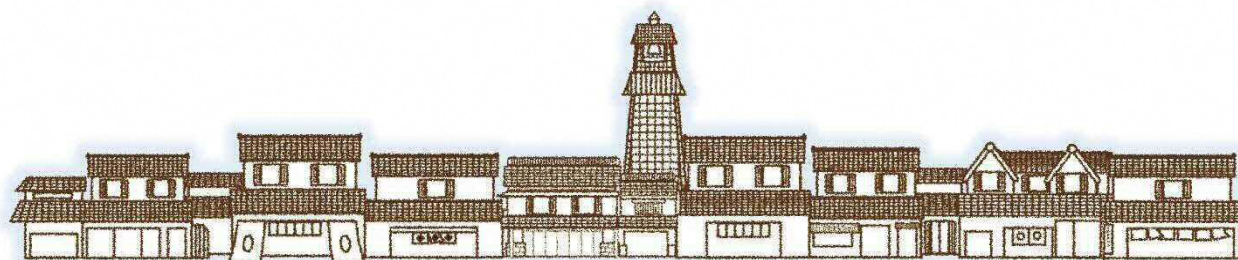
福田 司



川越市マスコットキャラクター
ときも

ー 川越市上下水道ビジョン 目次 ー

第1章 基本事項	1
1.1 策定の趣旨	1
1.2 計画の位置づけと期間	2
1.2.1 計画の位置づけ	2
1.2.2 ビジョンの計画期間	2
1.3 基本理念	3
1.4 水道事業の概要	4
1.4.1 水道事業の沿革	4
1.4.2 給水人口・水需要の動向	5
1.4.3 水源	7
1.4.4 施設の状況	9
1.4.5 経営状況	13
1.5 下水道事業の概要	14
1.5.1 下水道事業の沿革	14
1.5.2 汚水処理の状況	15
1.5.3 雨水排水の状況	17
1.5.4 施設の状況	18
1.5.5 経営状況	20
第2章 上下水道事業の現状と課題	21
2.1 水道事業の現状と課題	21
2.1.1 安心 ～安全で快適な水道～	22
2.1.2 安定 ～いつでも使える水道～	24
2.1.3 持続 ～健全な経営による水道～	27
2.1.4 環境 ～環境にやさしい水道～	30
2.2 下水道事業の現状と課題	31
2.2.1 生活環境の改善と向上	32
2.2.2 強靱性の向上	36
2.2.3 持続性の確保	37
2.3 上下水道事業の課題のまとめ	42

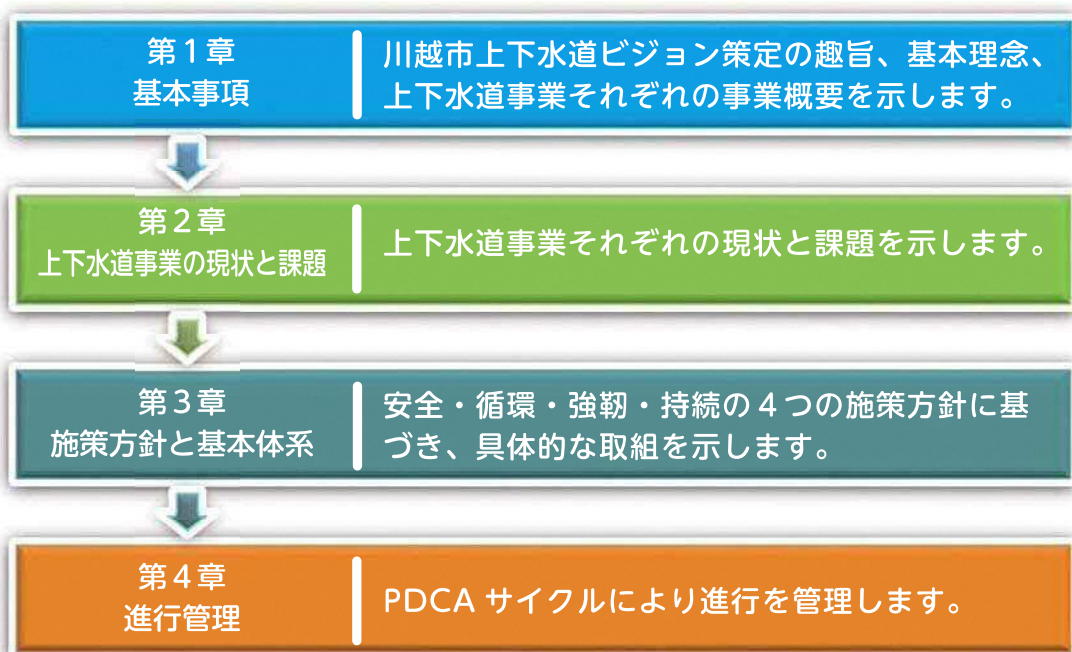


第3章 施策方針と基本体系	43
3.1 上下水道事業の施策方針	43
3.2 上下水道事業の基本体系	44
3.2.1 安全 ～いつでも安心して利用できる、安全で信頼される上下水道～	45
3.2.2 循環 ～環境にやさしく、水循環に貢献する上下水道～	51
3.2.3 強靱 ～災害に強く、たくましい上下水道～	57
3.2.4 持続 ～いつまでも皆様の近くにありつづける上下水道～	64
第4章 進行管理	77

資料編

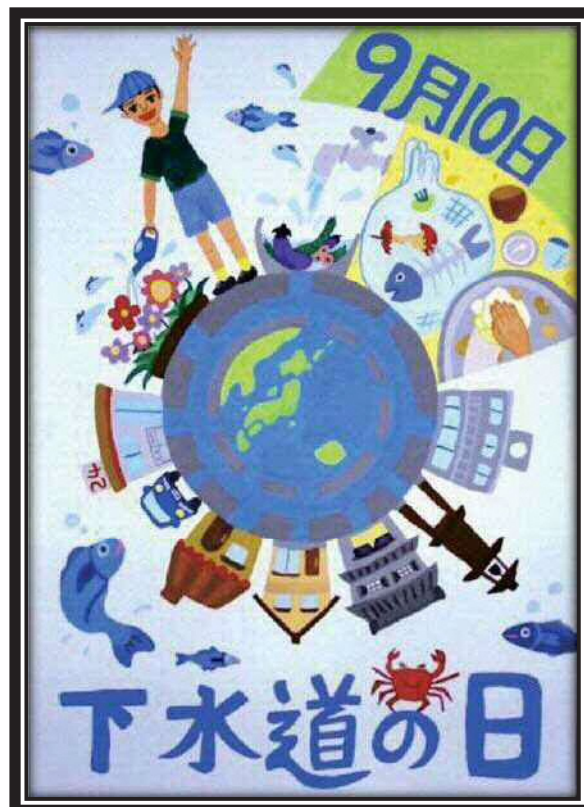
1. 川越市上下水道ビジョン策定経過
2. 川越市上下水道事業経営審議会
3. 水道・下水道についてのアンケート
4. 川越市上下水道ビジョン 評価指標一覧
5. 用語の解説

■ 川越市上下水道ビジョンの構成





第57回「水道週間」協賛懸賞（平成27年度） 図画の部
 小学校低学年 日本水道協会会長賞
 （平成27年度 川越市水道週間ポスターコンクール特賞）



第57回 下水道の日（平成29年度）
 下水道いろいろコンクール 絵画・ポスター部門
 小学校低学年の部 環境大臣賞
 （平成29年度 川越市下水道絵画・ポスターコンクール特賞）